

～ メモ ～

令和7年度

庄和市民センターを拠点とした

地域住民主体の地域づくり

～ 協議結果 中間報告書

1. 庄和地区地域づくり推進協議会 協議内容の概要

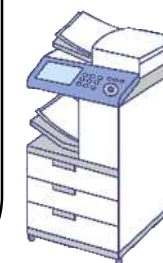
■ 令和7年度 第1回協議会 令和7年8月20日（水）

◆ 報告事項

- ・春日部市地域づくり推進協議会条例の概要
- ・公民館＋地区センター（新たな機能）＝市民センターの概要
- ・令和6年度 庄和市民センター正風館の事業報告
- ・令和6年度 庄和市民センター正風館 地域づくり推進会議の協議結果
- ・令和7年度の新たな取組

◆ 協議事項

- ・市民センターを拠点とした地域づくりに関して必要な意見交換



■ 令和7年度 第2回協議会 令和7年12月3日（水）

◆ 協議事項

- ・庄和地区の活性化に向けた取り組み（意見交換）
- ・地域内の交流を活性化させる地域交流イベントの開催（意見交換）

■ 令和7年度 第3回協議会 令和8年1月30日（金）

◆ 協議事項

- ・庄和地区地域づくりに関しての意見交換
中間報告書（案）について



令和8年3月6日（金）

第4回 庄和地区地域づくり推進協議会

2. 庄和地域が求める「庄和市民センター」のあるべき姿

《現状と課題》

- ・ 4つの機能とは何なのか、何を行うところなのか、何ができるところなのか、住民に浸透していない。一部の自治会や特定の団体だけが知っている。住民の多くは知らない。
- ・ PR不足を感じる。
- ・ 広報、周知のあり方に問題がある。単に利用者が増えればよいのか。
- ・ 利用が一部の人に限られている。



■ あるべき姿（理想像） ■

- ・ 市民センターの「必要性」や「4つの機能」を理解する。
- ・ SNS（LINEやX）の活用によって「市民センターでできること」、「市民センターでしていること」を共有できる。
- ・ 本庁や庄和総合支所に行かなくても様々な行政サービスが受けられる。
- ・ 自主防災訓練を重ねることで、住民による円滑な避難所運営が可能になる。



《今後の方向性と検討課題》

- ・ PRのため、市民センターの情報をSNSで発信するための方法を検討する。
- ・ 市民センターの関心を高めるため、公民館だよりの内容の充実を図る。
- ・ 様々な行政サービスを円滑に受けられる窓口の体制を検討する。
- ・ 多くの人が自然と関心を持ち、参加したくなる円滑な避難所運営訓練を検討する。



3. 庄和地域住民が自ら進んで行動できる取り組み

《現状と抱える課題》

- ・ 高齢者は地域や社会（学校等）とのつながり（結びつき）の大切さを認識している。
- ・ 地域内や自治会内でのコミュニケーション不足を感じる。
- ・ 防災訓練の強化充実が必要である。
- ・ 庄和地域が北部、中部、南部の3つに分かれ、それぞれに独自の地域性がある。



■ 目標（将来像） ■

- ・ 地区体育祭や公民館まつり等のイベントを通じて住民同士の結束（コミュニティ形成）が強い地域になる。
- ・ 世代間交流が活発な地域になる。
- ・ 若い世代が集う地域になる。
- ・ 全世代が安心安全に暮らせる地域になる。
- ・ 地域一体となった防災体制がとれる地域になる。



《今後の方向性と検討課題》

- ・ 世代間交流を深めるための具体的なイベントを検討する。
- ・ 学校の子どもと高齢者が交流し、昔遊び等を通じて伝統文化を継承するイベントを検討する。
- ・ 住民のつながり（結びつき）を深め、誰もが「住みたい」、「住んでよかった」と実感できる住環境を検討する。
- ・ 防災訓練を実戦的な備えへと強化充実するための具体的な訓練内容を検討する。